

1. 平成17年4月から平成19年3月の全体的な取組方針及び進捗状況

(1)事業再生・中小企業金融の円滑化の取組み

- 創業・新事業向け制度融資枠の活用を図っています。
- 担保・保証主義において弊害となった点を十分に踏まえ、財務やキャッシュフローを重視した融資姿勢で取組みしています。
- 原則無担保の新商品を発売しました。(税理士会経営者ローン(個人事業主は保証人不要)17/5/23より、商工会議所ローン(無担保・無保証)17/8/1より、商工会メンバーズローン(個人事業主は保証人不要)17/9/26より、学資ローン(無担保・無保証人)17/11/21より、しんきんきゃっするカードローン(無担保・無保証人)17/11/21より、プロテクト・リフォームローン(無担保)17/11/1より、債務統合型ローン「まとめて一本」、17/11/1より、企業活性化資金(無担保)・企業支援資金(無担保)18/1/18より、がんばる子育て家庭支援資金(無担保) 18/5/10より、法人会メンバーズローン(無担保)18/9/25より)
- 経営改善支援グループを常時設置し、取引先企業の資金繰り・販路拡大等の経営相談に親身になって対応し、取引先企業のランクアップに取り組んでいます。
- 当庫にはしんきんネットクラブがあり、異業種の代表者の方々との意見交換等を行っています。17/4/14、講演「ヒトの品質・経営の品質」ヒューマックス考房 代表 羽田野正博氏 49名参加、17/7/14、第7期総会・第1回勉強会 講演「“新”営業戦略 ホームページを活用して」52名参加、17/9/28、第2回勉強会(企業訪問 ㈱不二越)、18/2/15、第3回勉強会(演題「新年の景気見通し」)講師(財)北陸経済研究所 特別研究員 山本正臣氏、18/4/13、第4回勉強会(演題「企業進化への挑戦」)講師 タナベ経営取締役 大川雅弘氏 18/7/4、平成18年度第1回勉強会(演題「原油高騰のディープリンパクト」)講師 北陸経済研究所 松田一志氏、18/10/11、第2回勉強会(ビジネスマッチング見学) 19/1/25、第3回勉強会(演題「2007年経済・景気の見通しについて」)講師 大和証券(株)富山支店 後藤渉氏
- 各種研修会やセミナーに積極的に参加し貸出審査能力の向上を図り、お客さまのお力になれるよう融資相談能力を高めています。
- 多様化する金融取引の仕組みを調査し、活用できる商品の開発を行っています。
- 北陸地区しんきん協会主催の“合同ビジネスマッチング”(18/10/11開催)に参加。(当庫出展企業14社 発注企業2社)

(2)経営力の強化の取組み

- 19/3/31のバーゼルⅡの導入に伴い、自己資本比率の算出方法等の理解と自己資本比率の目標設定根拠を十分に認識し、目標達成とより一層の改善策検討を実施していきます。
- 個人情報保護に関する各種規程・手順等を策定し、お客様の個人情報漏洩防止のため安全管理を徹底しています。
- 資産査定基準書に基づき年2回(内1回は仮査定)適正な自己査定を行い、外部監査を受け決算状況を公表しています。
- 企業信用格付システム(SSC)の導入を図り、取引先との取引内容説明に対し積極的に活用する予定です。また信用リスクデータベース(SDB)の活用についても検討しています。
- 今後も引続き収益力の強化を図り、健全で安心できる金庫を目指していきます。
- 法人インターネットバンキングのサービスを開始しました。(17/4より)
- ATMでキャッシュカードのパスワード変更機能の実施を始めました。(17/8より) また、ATMおよびTMでのパスワード登録・変更取引およびTMでの各種取引時、特定暗証番号のチェックを行っています。(17/10より) 第二地銀・信用組合などの業態間相互提携により、他行ATMでの入金業務の開始。(18/1より) 夜間事故カード受付サービスを平日22:00、休日21:00までを24時間受付サービスの開始。(18/8より) 法人インターネットバンキングによるMPNサービス開始。(18/11より)ICカード対応ATMの導入(19/2本店営業部)

(3)地域の利用者の利便性向上の取組み

- ディスクロージャー誌・ミニディスクロージャー誌・ホームページ等により、お客様にわかりやすい情報開示に努めます。
- 利用者からの意見・要望等の満足度調査(アンケート)を実施し調査結果を分析、経営方針、業務運営に反映させており、今後もアンケートを実施し、お客様からの要望に対応すべき態勢を構築していきます。

2. 計画の達成状況

17年度、18年度の2年間を終え、当初の計画を達成するため、一生懸命取り組んできましたが、項目によっては進捗状況が遅れた項目もありました。今後も事業再生・中小企業の円滑化を図るため、本部と営業店が一丸となり地域の取引先(利用者)に対し積極的に取り組む方針であり、実績等についてはディスクロージャー誌、ホームページ等において公表を行っていきます。

3. 計画の達成状況に対する分析・評価及び今後の課題

根元的に新アクションプログラムの推進により、何が出来よう改革できるのか再度役職員が研修等で認識し、地域になくってはならない健全な地域密着型金融機関のあり方を金庫全体で考え、今後も計画の達成状況と取引先及び地域が活性化するためにどう活動していくのかを検討・課題とし今後も役職員一丸となり全力で取り組んでいきます。

4. アクションプログラムに基づく個別項目の計画の進捗状況(別紙様式1)

項目	具体的な取組み	スケジュール		進捗状況		備考(計画の詳細)
		17年度	18年度	17年4月～19年3月	18年10月～19年3月	
1. 事業再生・中小企業金融の円滑化						
(1) 創業・新事業支援機能等の強化						
創業・新事業支援機能等の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・創業・新事業向け制度融資枠の活用を図る。 ・各業界団体との連携により、創業・新事業を目指す企業家の情報を収集し、迅速な支援に努める。 ・内外部研修を通じ、融資担当者のスキルアップを図る。 ・融資審査態勢の強化を図るため、地域に密着した営業を通じた将来性ある案件の発掘・育成のための体制の整備、強化する。 ・産業クラスターサポート金融会議の効果的な活用する。 ・各地域に設置されている中小企業支援センターの活用する。 ・中小企業金融公庫、国民生活金融公庫等との情報共有、連携強化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・制度融資枠の活用する。 ・各業界団体との連携による情報収集を行う。(商工会議所、商工会等) ・地域中小企業センターとの情報交換を行い、半期に一度程度で経営相談会を実施する。 ・庫内研修の開催する。 ・外部研修への参加を積極的に行う。(目利き力養成、企業ランクアップ等) ・北陸地区産業クラスターサポート金融会議に参加する。 ・北陸ものづくり創生協議会に総会に参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成17年度取組み実績の検証及びそれを踏まえた効果的施策を検討する。基本的に左記取組を継続し、一層強化させていく方針である。 ・上記取組を継続し、計画・実施・検証を繰り返し、施策の強化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・創業者支援資金13先/83,100千円の実績あり。 ・各業界団体との連携による情報収集を行う。(商工会議所、商工会等) ・平成17年7月4日、地域中小企業センターとの情報交換を行う。 ・目利き等外部研修に58名参加。 ・平成17年6月23日、「北陸地区産業クラスターサポート金融会議」に1名参加。 ・平成17年7月13日、「北陸ものづくり創生協議会総会」に参加。 ・平成17年7月22日、「新事業活動促進法情報交換会」に2名参加。 ・北銀主催「第6回合同セミナー」に4名参加。 ・平成17年10月27日、「中小企業パワーアップセミナーin富山」に7名参加。 ・平成17年12月18日、ベンチャー企業・創業・新規事業支援相談会実施。(講師・魚津商工会議所 中小企業相談所長大崎氏) ・平成18年2月23日～24日、地域振興支援実務研修に1名参加。 ・平成18年2月24日、「地域金融円滑化会議」に1名参加。 ・平成18年3月1日、「第6回北陸地区産業クラスターサポート金融会議」に1名参加。 ・平成18年3月15日、「信用リスクシステム情報交換会」に1名参加。 ・平成18年5月18日、「金融高度化セミナー会議」に4名参加。 ・平成18年7月13日、「第7回北陸地区産業クラスターサポート金融会議」に1名参加。 ・平成18年7月26日、「平成18年度SDB地区別説明会」に2名参加。 ・平成18年9月1日、「第11回地域金融円滑化会議」に1名参加。 ・平成18年10月3日、「合同ビジネスフェア第7回実行運営委員会」に1名参加。 ・平成18年10月11日、しんきんビジネスフェア「北陸ビジネス街道2006」に参加。 ・平成18年11月24日、「融資推進会議」2名参加。 ・平成18年12月12日、「特色ある取組み等に関するシンポジウム」に1名参加。 ・平成19年1月15日、設備担保信用補完制度「しんきんMEサポート」に1名参加。 ・平成19年2月27日、「第12回地域金融円滑化会議」に1名参加。 ・平成19年3月8日、「企業再生セミナー」に1名参加。 		
(2) 取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化						
① 取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・経営情報やビジネス情報を提供する仕組みを整備するため、外部民間コンサルティング会社や各公的資格者を積極的に活用し、広範囲の取引先に情報の提供や経営相談を行い、職員の相談能力の向上を図る。 ・役員取引先同行訪問の継続実施する。 ・しんきん業界のビジネスマッチングに参加する。 ・外部の専門機関(民間コンサルティング会社、弁護士、会計士、税理士等)を積極的に活用する。 ・職員の各種資格取得を奨励する。 ・金庫内外の研修を通して職員の相談能力の向上を図る。 ・役員取引先同行訪問を年2回～3回実施し、情報提供や経営相談にニーズする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・経営相談やビジネス情報活用方法を強化する。 ・経営相談・支援能力の向上を図る外部研修に積極的に参加する。 ・職員に各種資格取得を奨励する。 ・しんきんネットクラブ事業を開催する。 ・役員取引先同行訪問(年2～3回)実施し、情報提供や経営相談にニーズする。 ・しんきんビジネスマッチングサービスに参加を予定する。 ・役員による取引先同行訪問を継続実施する。 ・職員に各種資格取得を奨励する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度取組み実績の検証及びそれを踏まえた効果的施策の検討を行うと共に、基本的に左記取組を継続して、一層強化させていく方針である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・経営相談やビジネス情報活用方法の強化。 ・経営相談・支援能力の向上を図る外部研修に積極的に参加。 ・職員に各種資格取得を奨励。 ・しんきんネットクラブ事業17/4/14、17/7/14、17/9/28、18/2/15、18/4/13、18/7/4、18/10/11、19/1/25開催。 ・役員取引先同行訪問。 平成17年10月19日～21日実施。 平成17年12月12日～16日実施。 平成18年3月2日～14日実施。 ・ビジネスマッチング。 北陸協会及び県協会主催の検討会に7回参加。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談会開催。 平成19年1月21日、ベンチャー企業・創業・新規事業支援相談会実施。 ・しんきんネットクラブ開催。 平成18年10月11日、第2回勉強会「ビジネスマッチング見学」 平成19年1月25日、第3回勉強会 演題「2007年の経済・景気の見通しについて」講師 大和證券(株)富山支店 後藤渉氏。 ・ビジネスマッチング。 北陸協会及び県協会主催の検討会に5回参加。 	

項目	具体的な取組み	スケジュール		進捗状況		備考(計画の詳細)
		17年度	18年度	17年4月～19年3月	18年10月～19年3月	
②要注意先債権等の健全債権化等に向けた取組みの強化	<ul style="list-style-type: none"> ・要注意先債権等の健全債権化のため、要注意先以下の取引企業の経営改善支援に本部も積極的に関与し、経営改善可能性を見極め、本部と営業店が連携して必要な支援を行う。 ・経営改善支援グループは営業店と十分連携し、経営改善の可能性のある債務者企業の選定、支援方を検討する。 ・大口と信先を中心に定期的に(6ヶ月毎を目安)に業況ヒアリングを実施し、より精度の高い業況把握に努める。 ・審査担当者のスキル向上の観点から「企業再生支援人材育成研修」等に積極的に参加する。 ・要注意先債権等の健全債権化実績について業績評価への反映を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・経営改善支援ヒアリングの実施。(年4回) ・大口と信先役員ヒアリングの実施。(年2回) ・信用リスク部会ヒアリングの実施(年1回) ・企業再生支援人材育成のための内外研修の参加。 ・中小企業支援策、目利き力養成研修の庫内外研修実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度取組み実績の検証及びそれを踏まえた効果的施策の検討。基本的に左記取組を継続し、一層強化させていく方針。 	<ul style="list-style-type: none"> ・経営改善支援ヒアリングの実施。(平成17年6月1日・15日)(平成17年12月20日・28日) ・平成18年6月21日～23日実施。(対象先60先) ・大口と信先役員ヒアリングの実施。(平成17年8月30日・9月1日、平成18年2月1日・2日、平成19年2月23日・3月2日) ・信用リスク部会ヒアリングの実施。(平成17年9月29日) ・企業再生支援人材育成のための外部研修の参加。 ・中小企業支援策、目利き力養成研修の庫内外研修実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大口と信先役員ヒアリングの実施。平成19年2月23日・平成19年3月2日実施。(対象先119先) 	
③健全債権化等の強化に関する実績の公表等	<ul style="list-style-type: none"> ・要注意先債権等の健全債権化実績について業績評価への反映を検討する。 ・ディスクロージャー、ホームページ等において経営改善支援取組状況等の公表を実施し、当庫の実態(改善度合等)を公表する。 ・経営改善先(15年度～16年度、ランクアップ先実績18先) ・経営改善先(17年度～18年度、ランクアップ先目標10先) 	<ul style="list-style-type: none"> ・経営改善支援グループヒアリングの実施。 ・信用リスク部会ヒアリングの実施。 ・企業再生支援人材育成研修等への積極的参加。 ・要注意先債権等の健全債権化実績の公表。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成17年度の実績の検証。支援策の実施状況の適切なフォロー。 ・債務者企業の追加、改善策の再検討。 ・要注意先債権等の健全債権化実績の公表。 	<ul style="list-style-type: none"> ・経営改善支援グループヒアリング実施。平成17年6月1日・15日(対象先40先) ・平成17年12月20日、12月28日(対象先63先) ・平成18年6月21日～23日(対象先60先) ・企業再生支援人材育成研修等の健全債権化実績の公表。 ・平成17年9月29日、信用リスク部会ヒアリングを実施。(対象先51先) ・大口と信先役員ヒアリングの実施。平成17年6月1日、6月15日実施。(対象先126先名寄先含む) ・平成18年2月1日～2日実施。(対象先136先名寄先含む) ・平成19年2月23日・平成19年3月2日実施。(対象先119先名寄先含む) ・経営改善先ランクアップ先数実績(17.4～19.3)計21先 	<ul style="list-style-type: none"> ・大口と信先役員ヒアリングの実施。平成19年2月23日・平成19年3月2日実施。(対象先119先) ・経営改善先ランクアップ先数実績(17.4～19.3)計21先 	
(3) 事業再生に向けた積極的取組み						
①事業再生に向けた積極的取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・「早期事業再生ガイドライン」の趣旨を理解する。 ・デット・エクティ・スワップ、DIPファイナンスの知識習得し情報収集後活用を検討していく。 ・中小企業再生支援協議会との情報を密に行う。 ・他行との協調融資取組の推進。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業再生支援協議会の積極的な取組。 ・シンジケートローンの積極的取組。 ・庫内研修実施(中小企業再生支援事業について)(平成17年4月7日、講師富山県中小企業再生支援協議会、29名参加) 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成17年度の実績の検証及びそれを踏まえた効果的施策の検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成17年9月28日、シンジケートローン2億円 実行する。(アレンジャー・エージェント 三井住友銀行) ・平成18年3月24日、コメントライン契約(総貸出極度額1,100百万円の内当庫100百万円)を締結。 ・平成19年3月15日、シンジケートローン1,450百万円契約し、当庫で550百万円実行する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成19年3月15日、シンジケートローン1,450百万円契約し、当庫で550百万円実行する。 	
②再生支援実績に関する情報開示の拡充、再生ノウハウ共有化の一層の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・再生支援実績に関する情報開示の拡充。 ・再生ノウハウ方法の開示。 	<ul style="list-style-type: none"> ・再生支援実績があれば情報を積極的に開示していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成17年度の実績の検証。 ・開示方策の実施状況の適切なフォロー。 	<ul style="list-style-type: none"> ・再生支援実績があれば情報を積極的に開示していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・再生支援実績があれば情報を積極的に開示していく。 	
(4) 担保・保証に過度に依存しない融資の推進等						
①担保・保証に過度に依存しない融資の推進等	<ul style="list-style-type: none"> ・財務・担保・保証主義における弊害となった点を十分に踏まえ財務やキャッシュフローを重視していく。 ・ローンレビュー(貸出後の業況把握)の徹底。 ・財務制限条項の活用。 ・事業価値に着目し、動産・債権譲渡担保融資等の活用。 ・将来のスコアリングモデル構築のため、業界の信用格付制度の導入を検討する。 ・SDB(しんきん信用リスクデータベース)活用の検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大口と信先管理の徹底及び自己査定年2回実施。 ・キャッシュフローについて融資担当者を対象とした研修会実施。 ・信用格付制度の導入を検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成17年度実施項目の検証と継続実施。 ・財務制限条項の情報収集と、活用の検討。 ・人的な個人保証の取扱いについて、信用格付制度システムと併せ検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成17年6月末自己査定を平成17年8月(2次査定)実施。 ・平成17年12月末自己査定を平成18年2月(2次査定)実施。 ・平成18年6月末自己査定を平成18年8月(2次査定)実施。 ・平成18年12月末自己査定を平成19年2月(2次査定)実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成18年12月末自己査定を平成19年2月(2次査定)実施。 	

項目	具体的な取組み	スケジュール		進捗状況		備考(計画の詳細)
		17年度	18年度	17年4月～19年3月	18年10月～19年3月	
②中小企業の資金調達手法の多様化等	<ul style="list-style-type: none"> 取引先企業の新たな資金調達手段として、証券化や売掛債権融資保証制度への取組みを、信金中央金庫ならびに保証協会を介して行う。 また、事務手順や先行事例について情報収集する。 取引先のニーズを調査し導入効果を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 取引先調査等を行い、売掛債権担保融資保証制度・保証付私募債のニーズがあれば検討。 担保・保証に過度に依存しない融資商品の開発。 	<ul style="list-style-type: none"> 売掛債権担保保証制度、私募債取扱い研修会の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 無担保及び無保証人融資商品の開発、販売開始実施。 税理士会経営者ローン 17/5/23より。 商工会議所ローン17/8/1より。 商工会メンバーズローン 17/9/26より。 学資ローン 17/11/21より。 しんぎんきゃつするカードローン17/11/21より。 プロテクト・リフォームローン 17/11/1より。 債務統合型ローン「まとめて一本」17/11/1より。 企業活性化資金・企業支援資金 18/1/16より。 がんばる子育て家庭支援資金融資 18/5/10より。 法人会メンバーズローン融資 18/9/25より。 給振者優遇金利のカーライフプラン・リピートプラン・教育プランキャンペーンを実施18/12/1～19/4/27。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成18年12月1日～平成19年4月27日までの期間限定で、カーライフプラン、リピートプラン、教育プランの給振者優遇キャンペーンを実施。 	
(5)顧客への説明態勢の整備、相談・苦情処理機能の強化	<p>顧客への説明態勢の整備、相談苦情処理機能の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 苦情・要望に対して回答、改善策にはスピードが求められており、コンプライアンス室や関連部署、役員の認識の統一迅速な対応の体制整備強化をより一層金庫全体で行う。 営業店における実効性の確保のため、監査部、コンプライアンス室のチェック強化を継続する。 重要事項の説明後、債務者より確認書類を徴求する。 顧客の理解、納得に向けて、具体的な説明に対する職員の基礎知識向上。 	<ul style="list-style-type: none"> 顧客への理解、納得に向けて、具体的な説明に対する職員の意識高揚に努める。 些細な相談、苦情でも正確、真摯に受け止めコンプライアンス室に全て報告できる態勢を確立する。 苦情等再発防止の取組の体制を確立する。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成17年度実施項目の検証と継続実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成17年4月12日から8月8日にかけて全営業店12店舗のコンプライアンス監査を、監査部において実施する。 平成18年6月21日から9月15日にかけて、全営業部店15店舗の特別監査を監査部において実施する。 保険業法施行規則の改正により「生命保険商品事務取扱要領」及び「保険販売業務に関するコンプライアンス」を改訂し、全職員を対象とした研修会を18年4月に実施する。 平成19年2月苦情等処理簿のシステム変更を行い、営業店からの苦情等処理簿の報告、営業店へのフィードバックを早め苦情等処理機能を高めました。 平成18年10月から平成19年3月にかけて、監査部においてコンプライアンスフォロー監査を、全営業店について実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成19年2月苦情等処理簿のシステム変更を行い、営業店からの苦情等処理簿の報告、営業店へのフィードバックを早め苦情等処理機能を高めました。 平成18年10月から平成19年3月にかけて、監査部においてコンプライアンスフォロー監査を、全営業店について実施する。 	
(6)人材の育成	<p>人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 融資に強い人材育成の為、外部研修に積極的に参加する。 以前受講した研修であっても、再度受講させ再認識させる。 各種資格取得を奨励する。 外部研修派遣増員し、中小企業貸出に対する相談能力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 目利き研修等融資関連研修に派遣する。 銀行検定等の奨励する。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成17年度取組みを踏まえ研修計画を作成する。 外部研修受講者による庫内研修を充実する。 	<ul style="list-style-type: none"> (平成17年度) 目利き研修等融資関連研修に39名参加。 支店長、初級管理者等階層別研修に29名参加。 銀行検定・技能検定・コンプライアンス等合格者 延べ350名。 庫内研修385名受講。 (平成18年度) 外部派遣研修 初級管理者等階層別研修に12名参加。 融資関連研修に21名参加。 庫内研修 融資渉外研修34名参加。 企業再生支援実践研修36名参加。 債権管理回収講座28名参加。 企業ランクアップ講座27名参加。 中小企業経営改善支援実務研修建設業編25名参加。 シンジケートローンとMEサポート31名参加。 弁護士によるコンプライアンス研修194名参加。 検定 銀行検定等合格者15名。 FP等技能士合格者12名。 個人情報保護合格者24名。 コンプライアンス合格者21名。 	<ul style="list-style-type: none"> 外部派遣研修 支店長講座等階層別研修に4名参加。 目利き研修他融資関連研修に6名参加。 庫内研修 債権管理回収講座28名受講。 企業ランクアップ講座27名受講。 中小企業経営改善支援実務研修建設業編25名受講。 シンジケートローンとMEサポート31名受講。 弁護士によるコンプライアンス研修194名受講。 検定 銀行検定等合格者7名。 FP等技能士合格者5名。 個人情報保護合格者2名。 コンプライアンス合格者13名。 	

項目	具体的な取組み	スケジュール		進捗状況		備考(計画の詳細)
		17年度	18年度	17年4月～19年3月	18年10月～19年3月	
2. 経営力の強化						
(1) リスク管理態勢の充実						
リスク管理態勢の充実	<ul style="list-style-type: none"> 平成19年3月末のバーゼルⅡの導入に備え、自己資本比率の算出方法等の理解と自己資本比率の目標設定根拠を十分に認識し、目標達成とより一層の改善策検討を実施していく。また、各委員会はリスク管理の定量化と、より管理の高度化を行う。 ALM委員会(常勤理事会)を中心としてリスク管理の報告と自己資本に対する影響を考慮する体制を構築する。 各部会、委員会においても、より精度の高いリスク管理手法の習得を目指す。 各リスクの計数化を行い、リスクの所在を明確化し、自己資本比率への影響について取引先に説明できるよう、情報開示に向けたリスク管理の態勢を構築していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 各リスク部会ではリスクの計数化を検討し、統合リスク管理の充実に研究する。 上部団体の指導、他信用金庫の視察を計画しリスク管理態勢の研究を行う。 統合リスク管理について、信金中金、証券会社等のセミナーに積極的な参加を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成17年度の進捗状況を踏まえ、リスク管理手法の再確認と高度化を検証、また情報開示について検討し、取引先へ説明の充実を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成17年4月、各リスクに対する自己資本配賦額を再検討のうえ、再設定する。 平成18年2月、合併後のリスクに対する自己資本配賦額を合算して設定する。 信金中金による常勤役員を対象とした統合リスク管理研修会を平成18年5月11日に実施。 平成18年8月、経理部において自己資本配賦額の試案と新自己資本比率規制(バーゼルⅡ)対応マニュアル(案)を策定。 バーゼルⅡに関する情報収集と債権ポートフォリオのリスクアセットの分析。 平成18年12月「新自己資本比率規制(バーゼルⅡ)対応マニュアル」を制定。 平成19年3月バーゼルⅡ第2の柱における銀行勘定の金利リスクの軽量化実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成18年12月「新自己資本比率規制(バーゼルⅡ)対応マニュアル」を制定。 平成19年3月バーゼルⅡ第2の柱における銀行勘定の金利リスクの軽量化実施。 	
(2) 収益管理態勢の整備と収益力の向上						
収益管理態勢の整備と収益力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 営業店独立採算制を導入し、月次損益計算書を作成していますが、より精度を高め、管理会計の重要性と業績評価への反映を役職員が認識し、また地域金融機関として貸出金確保の必要性和金利設定の基準整備により収益管理態勢と、収益力向上策を検討する。 管理会計を整備し、職員に理解しやすく収益管理が行えるようにする、また業績評価に反映させることにより収益力向上の重要性を認識する。 信用格付システムの導入を図り、債務者区分と整合性を持ち、金利設定基準の整備を計画します。 SSC、OSSのセンターを活用し信用リスクデータの利用について検討し、融資審査に活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 信用格付システムの構築・導入に向け、平成17年8月10日、(株)しんきん情報システムセンター(SSC)に加入申込を行う。 平成17年11月7日契約日。 	<ul style="list-style-type: none"> 前年のシステム導入の進捗状況を勘案し、活用に向け人材、費用面を見直し、活用運用を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成17年8月10日、(株)しんきん情報システムセンター(SSC)に加入申込を行う。 平成17年11月7日、(株)しんきん情報システムセンター(SSC)と企業信用格付システムの契約を行う。 自己査定と信用格付との整合性の検証。 信用格付・信用リスクデータベースの活用に向けた要員の育成と信用リスク計量化に向けた手法の研究。 プライシングモデル構築に向けた先進金庫等の情報収集。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己査定と信用格付との整合性の検証。 信用格付・信用リスクデータベースの活用に向けた要員の育成と信用リスク計量化に向けた手法の研究。 プライシングモデル構築に向けた先進金庫等の情報収集。 	
(3) ガバナンスの強化						
協同組織金融機関におけるガバナンスの向上	<ul style="list-style-type: none"> 半期開示項目については、全信協の指導、及び地区内金融機関の開示状況を参考に今後検討し、上場企業の四半期開示も今後参考にしたい。開示方法については店頭縦覧になっているがホームページの活用について検討していきたい。 総代会の仕組みについて改めてディスクロージャー誌で解説する。 職員に対し協同組織金融機関の特徴と機能について研修を行い、また総代会の仕組みについて適切に説明できる態勢を整備する。 一般会員の意見が総代会に反映できる組織を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 全信協の半期開示項目を検討する。 ホームページ活用開示方法の検討する。 会員への情報開示方法を検討し、意見交換等により総代会への意見の反映を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 前年項目進捗状況を考慮し、円滑な運営方法の再認識と検討をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成17年8月に、平成16年度ディスクロージャー誌において、総代会の仕組みについてのページを追加する。 開示について、他金庫・他銀行のホームページを閲覧、調査することにより、今後、当金庫の参考とし取り入れを検討する。 平成18年7月に法定ディスクロージャー誌を店頭に掲置き、公衆の縦覧に供すると共に、当金庫の状況をわかり易くとりまとめた「ミニレポート2006」を作成し、総代・一般顧客に配布しました。 引続き、法定ディスクロージャー誌を店頭に掲置き、公衆の縦覧に供すると共に、当金庫の状況をわかり易く取りまとめた「ミニレポート2006」を営業店に掲え置いています。 	<ul style="list-style-type: none"> 引続き、法定ディスクロージャー誌を店頭に掲置き、公衆の縦覧に供すると共に、当金庫の状況をわかり易く取りまとめた「ミニレポート2006」を営業店に掲え置いています。 	

項 目	具体的な取組み	スケジュール		進捗状況		備考(計画の詳細)
		17年度	18年度	17年4月～19年3月	18年10月～19年3月	
(4) 法令等遵守(コンプライアンス)態勢の強化						
① 営業店に対する法令等遵守状況の点検強化等	<ul style="list-style-type: none"> ・営業店では苦情に限らず、お客様の要望や事務改善取組み策について苦情等処理簿を活用し、コンプライアンス委員会を通じ、内容を各営業店にフィードバックし再発防止に努める。 ・不祥事件発生は原因があり、早期発見と対応策が必要と思われ、日頃の事務処理や業務の報告、連絡、相談の態勢整備を行い、金庫業務の社会重要性や信頼性について従業員全員で理解を深め、不祥事件の未然防止に取り組む。 ・苦情等を開示することにより、未然防止対策が可能と思われる。またコンプライアンス違反が発生した場合、迅速な対応により、再発防止の効果がある。 ・監査部、コンプライアンス室の点検や指導強化の実施と、役員を対象としたコンプライアンス研修や職員のSCO・ACO資格取得を実施していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・監査部、コンプライアンス室により営業店点検方法及び事故の未然防止、兆候発見の対応策を検討する。 ・営業店においての自店検査項目、チェックリストを検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度の進捗状況を把握し、円滑な運営を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成17年4月12日から8月8日にかけて、全営業店12店舗のコンプライアンス監査を、監査部において実施する。 ・平成17年10月4日から平成18年2月3日にかけて、合併後の全営業店15店舗の下期コンプライアンス監査を、監査部において実施する。 ・平成18年2月22日から2月24日にかけて、新川・富山地区の12店舗のコンプライアンス研修調査を、コンプライアンス室において実施する。 ・コンプライアンス室より、毎月2回「コンプライアンス推進室(機関紙)」を発行する。 ・平成18年10月から平成19年3月にかけてコンプライアンス推進室を9回発行する。 ・平成18年11月20日「コンプライアンス室」は独立性の確保と充実・強化を図るために総務部から独立、専担部署として監査部と連携しながら営業店の点検及び指導を半期に一度実施します。 ・平成18年12月「にいかわ信金倫理憲章」を制定。毎日の朝礼時に倫理憲章を全役職員唱和しています。 ・平成19年1月に全役職員は法令等遵守意識の醸成とその徹底を誓う「法令等遵守誓約書」を理事長に提出。 ・平成19年2月システム変更により苦情等処理簿の営業店からの報告・営業店へのフィードバックを早め、再発防止に努めています。 ・平成19年3月全役職員を対象とした弁護士によるコンプライアンス研修を実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成18年10月から平成19年3月にかけて「コンプライアンス推進室」を9回発行する。 ・平成18年11月20日コンプライアンス室は独立性の確保と充実・強化を図るために総務部から独立、専担部署として監査部と連携しながら営業店の点検及び指導を半期に一度実施します。 ・平成18年12月「にいかわ信金倫理憲章」を制定。毎日の朝礼時に倫理憲章を全役職員唱和しています。 ・平成19年1月に全役職員は法令等遵守意識の醸成とその徹底を誓う「法令等遵守誓約書」を理事長に提出。 ・平成19年2月システム変更により苦情等処理簿の営業店からの報告・営業店へのフィードバックを早め、再発防止に努めています。 ・平成19年3月全役職員を対象とした弁護士によるコンプライアンス研修を実施しました。 	

項目	具体的な取組み	スケジュール		進捗状況		備考(計画の詳細)
		17年度	18年度	17年4月～19年3月	18年10月～19年3月	
②適切な顧客情報の管理・取扱いの確保	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報の収集・利用・提供を行う場合、その目的を明示し情報主体の同意の下で行う。 個人情報を厳正な管理の下で保管し、個人情報へのアクセス・紛失・破壊・改ざん及び漏洩などに関して適切な予防ならびに是正を実施。 個人情報保護の取扱いに係るお客様からの苦情処理に適切に取組む。 個人情報保護に関するコンプライアンス・プログラムを定め、全職員に徹底するほか、定期的に見直し改善を実施。 個人情報の取得利用、機微情報に関する取扱い、第三者提供を行なう場合、その目的を明示して書面による同意を得る取扱としている。 セキュリティシステムの導入、ファイアーウォールによる不正アクセスの制御、コピー、FAXの管理、帳票類の持出し管理を実施。 「お客様相談窓口」を設置し、ホームページに公表掲載、苦情・相談報告書・苦情等処理簿によりの確な対応を確立。 個人情報を保護するための方針・組織・計画・実施・監査及び見直し定期的な職員の教育研修を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報管理体制に係る一斉点検実施。 文書取扱規程の策定。(文書保存期間一覧表の制定) 「安全管理措置実施状況点検表」による自主点検実施。 個人情報保護基本規定・内部監査手順に基づき監査を実施。 個人情報保護の研修会実施。(部店長及び担当役員等対応) 	<ul style="list-style-type: none"> 人事部による教育計画に基づく監査部による監査の実施。 事務部による安全管理措置実施状況の検証・点検を実施。 個人情報保護監査規程に基づく監査部による監査の実施。 個人情報保護規程・手順等の見直し。 	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報管理体制に係る一斉点検実施。(平成17年6月) 文書取扱規程の策定。(文書保存期間一覧表の制定)(平成17年10月) 「安全管理措置実施状況点検表」による自主点検実施。(平成17年5月、平成17年8月、平成17年11月、平成18年2月 3ヵ月毎に実施) 個人情報保護基本規定・内部監査手順に基づき監査を実施。 個人情報保護の研修会の実施。(部店長および担当役員等対象)(平成17年10月) 文書保存期間および様式の一部改訂。(平成18年7月) 個人情報の利用目的の同意書様式変更。(平成18年8月) 「安全管理措置実施状況点検表」による自主点検実施。(平成18年5月、平成18年8月、平成18年11月、平成19年2月) 個人情報保護委員会の組織図改訂。(18年12月) 個人情報保護委員会の組織図改訂。(19年3月) 個人情報保護基本規程、個人情報取扱規程による店内研修会の実施。(19年3月) 		
(5)ITの戦略的活用						
ITの戦略的活用	<ul style="list-style-type: none"> 他行とATM相互開放の提携により顧客サービスの向上を図る。 ネットワークを利用した回線料の軽減を図る。 ATM改造による偽造・盗難カードへの取組みを図る。 北陸銀行とATM相互開放の提携により、平日時間内についてATM利用料を無料でのサービスを行い、無料で利用できるATM(コンビニATM含)台数も増加。また、第二地銀・信用組合などの業態間相互提携を行なうことにより、提携銀行等のATMでの入金業務を開始する。 ネットワーク回線を利用し本支店のIP電話化により電話料金の軽減を実施する。 偽造・盗難カードの対応としてATMでのパスワード変更、限度額の変更を可能とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 法人インターネットバンキングのサービスを開始する。 ATMでのキャッシュカードのパスワード変更を可能とする。 Pay-easy 口座振替受付サービスを開始する(平成17年10月24日) ATMおよびTMでのパスワード登録・変更取引およびTMでの各種取引時、特定暗証番号のチェックを行なう。(平成17年10月16日) 第二地銀・信用組合などの業態間相互提携より、他行ATMでの入金業務を開始する。 	<ul style="list-style-type: none"> ICカード対応の検討。 	<ul style="list-style-type: none"> 法人インターネットバンキングのサービス開始。(平成17年4月) ATMでキャッシュカードのパスワード変更、限度額変更機能等の実施。(平成17年8月) Pay-easy 口座振替受付サービスの開始。(平成17年10月) ATMおよびTMでのパスワード登録・変更取引およびTMでの各種取引時、特定暗証番号のチェックを実施。(平成17年10月) 第二地銀・信用組合などの業態間相互提携より、他行ATMでの入金業務の開始。(平成18年1月) 夜間事故カード受付サービスを平日22:00、休日21:00までを24時間受付サービスの開始。(平成18年8月) 法人インターネットバンキングによるMPNサービス開始。(18年11月27日) オープン出納機導入による事務の効率化およびセキュリティ管理(19年1、2月に生地支店、西部支店、田中支店導入により未導入店舗は北部支店、中加積支店の2店舗となる) ICカード対応ATMの導入(本店営業部(19年2月13日)、滑川営業部(19年4月2日)に各1台) 口座振替受付サービス(Pay-easy)収納期間の追加。18年10月～19年3月までにNHK等5社追加する。 	<ul style="list-style-type: none"> 法人インターネットバンキングによるMPNサービス開始。(18年11月27日) オープン出納機導入による事務の効率化およびセキュリティ管理(19年1、2月に生地支店、西部支店、田中支店導入により未導入店舗は北部支店、西部支店、田中支店導入により未導入店舗は北部支店、中加積支店の2店舗となる) ICカード対応ATMの導入(本店営業部(19年2月13日)、滑川営業部(19年4月2日)に各1台) 口座振替受付サービス(Pay-easy)収納期間の追加。18年10月～19年3月までにNHK等5社追加する。 	
(6)協同組織中央機関の機能強化						
協同組織中央機関の機能強化	<ul style="list-style-type: none"> 平成13年4月に信金中金、全信協、当金庫と信用金庫経営力強化制度の契約を締結しました。これにより信金中金と情報・意見交換を積極的に行い、客観的な視野による、経営状況を認識し改善・向上策を策定したい。 市場リスク管理態勢等の強化を図る。 信金中金への資料提出や開催する説明会、研修会には積極的に参加し、信金中金の考え方、方針を取入れていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 信金中金と情報交換を行い、業界状況の把握と認識をしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 信金中金と情報交換を行い、業界状況の把握と認識をしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 信金中金、全信協から発信される通達等を充分注意し、特に経営力強化の項目については内容の理解に努める。 信金中金の決算分析データ・経営効率化分析表の検証と管内金庫や規模別同等金庫との経営諸比率等の比較検討。平成18年5月11日、信金中金による常勤役員を対象とした統合リスク管理研修会を実施。 信金中金の決算分析データ・経営効率化分析表の検証と管内金庫や規模別同等金庫との経営諸比率等の比較検討。 	<ul style="list-style-type: none"> 信金中金の決算分析データ・経営効率化分析表の検証と管内金庫や規模別同等金庫との経営諸比率等の比較検討。 	

項目	具体的な取組み	スケジュール		進捗状況		備考(計画の詳細)
		17年度	18年度	17年4月～19年3月	18年10月～19年3月	
3. 地域の利用者の利便性向上						
(1)地域貢献等に関する情報開示						
①地域貢献に関する情報開示	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が求める情報によって、開示する手段(ディスクロージャー誌・ミニディスクロージャー誌・ホームページ)ごとの開示情報の質や量を、引き続き検討したうえで情報開示する。 ・CSRに向けた取組の情報は、法令等の遵守、提携商品・提携サービス、コンピュータシステムの安全確保、文化的・社会的貢献について、継続的取組状況を情報開示する。 ・北陸銀行との業務提携によるATMの利用手数料の低廉。 	<ul style="list-style-type: none"> ・開示情報を検討のうえ、ディスクロージャー誌・ミニディスクロージャー誌・ホームページにより開示する。 ・CSRに向けた取組状況についても検討のうえ情報開示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成17年度実績を踏まえ、業界団体から示された開示モデルを参考にして情報開示内容を検討のうえホームページに掲載する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全信協から示された開示モデルを参考にして、平成17年8月、平成16年度ディスクロージャー誌により開示する。 ・平成17年9月末ディスクロージャー誌を作成、11月にホームページ掲載する。 ・平成18年7月策定の法定ディスクロージャー誌による地域貢献活動の公表。 ・平成18年9月末ディスクロージャー誌を作成、平成18年11月店頭に掲載しました。 ・半期開示による地域貢献等に関する情報開示の検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成18年9月末ディスクロージャー誌を作成、平成18年11月店頭に掲載しました。 ・半期開示による地域貢献等に関する情報開示の検討。 	
②充実した分かりやすい情報開示の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・地域貢献等に関する情報についても利用者が求める情報開示に対応できるよう、視覚的な表現等を取り入れ分かりやすいものを作成する。 ・利用者が求める情報によって、開示する手段(ディスクロージャー誌・ミニディスクロージャー誌・ホームページ)ごとの開示情報の質や量の状況を引き続き検討し実施する。 ・ホームページを活用した地域貢献に関する情報開示内容およびアクセスしやすい開示方法等についても引き続き検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・業界団体から示された開示モデルを参考にして情報開示内容を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・業界団体から示された開示モデルを参考にして情報開示内容を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・業界団体から示された開示モデルを参考にして、ディスクロージャー誌により開示する。 ・他金融機関の開示状況の情報を収集し、分かりやすい情報開示を検討。 ・平成18年7月策定の法定ディスクロージャー誌により地域貢献活動を公表しました。 ・他金融機関の開示状況の情報を収集し、分かりやすい情報開示を検討しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・半期開示による地域貢献等に関する情報開示の検討。 	

項目	具体的な取組み	スケジュール		進捗状況		備考(計画の詳細)
		17年度	18年度	17年4月～19年3月	18年10月～19年3月	
(2) 地域の利用者の満足度を重視した金融機関経営の確立						
地域の利用者の満足度を重視した金融機関経営の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者からの意見・要望等の満足度調査結果を分析し、経営方針・業務運営に反映させようとして公表する方針。 ・平成17年12月末までに調査要請事項である「利用者満足度アンケート」結果を集計し、経営改善策をとりまとめ平成18年5～6月に公表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当局からの調査要請事項である「利用者満足度アンケート」の実施、集計と経営方針反映および経営改善策の策定。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査結果を踏まえた改善策の検討。 ・経営方針の実施と翌年度経営方針の策定。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成17年10月29日～30日にかけて実施する一般向けアンケートを作成し準備を完了。 ・平成17年10月29日～30日にかけて「まるまる魚津」イベント会場にて一般向け、事業者向けアンケートを作成し実施。 ・平成17年12月12日～16日にかけて総代向け一般向け顧客アンケートを作成し実施。 ・顧客アンケート結果分析検討会を平成18年1月23日、2月6日、2月20日に行い、検討項目を決定。 ①年金ご相談コーナーの看板設置、②金庫のサービス宣言の策定、③ビジネスマッチングの取組、④しんきんネットクラブ会員増強、⑤新商品、各種サービスのPR拡大等に着手。 ・平成17年9月末ディスクロージャー誌を作成、ホームページに11月掲載。 ・アンケートを反映した改善策については平成18年5月～6月にホームページにて公表予定。 ・平成18年4月3日より合併記念キャンペーン第2弾として新商品の発売、手数料の改定を実施。 預金商品では個人向けプレミアム定期預金、懸賞金付定期預金、融資商品では優遇金利事業資金と特別金利住宅ローンを6月30日まで期間限定で発売。 また19年3月末までの期間限定で住宅ローン取扱い手数料、カードローン発行手数料を無料、貸金庫手数料を半額としました。また、サービス向上3大宣言を公表し、職員の意識向上を図っています。 新商品「がんばる子育て家庭支援融資」(18/5/10)、富山県法人会連合会との提携による「法人会メンバーズローン」(18/9/25)取扱い開始する。 ・平成18年10月14日～15日魚津産業フェアまるまる魚津へ出展しお客様アンケートを実施しました。 ・平成18年12月12日～19日お客様満足度アンケートを実施し886件の回答を得ました。アンケート結果分析検討会を計3回開催し改善策を検討しました。 ・しんきんネットクラブでは18年11月10日に北陸3県の信用金庫で開催のしんきんビジネスフェア見学、出展に20名が参加。また、平成19年1月に新年講演会を実施、金庫協力会他、職員を含め98名の参加となりました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成18年10月14日～15日魚津産業フェアまるまる魚津へ出展しお客様アンケートを実施しました。 ・平成18年12月12日～19日お客様満足度アンケートを実施し886件の回答を得ました。アンケート結果分析検討会を計3回開催し改善策を検討しました。 ・しんきんネットクラブでは18年11月10日に北陸3県の信用金庫で開催のしんきんビジネスフェア見学、出展に20名が参加。また、平成19年1月に新年講演会を実施、金庫協力会他、職員を含め98名の参加となりました。 	

項目	具体的な取組み	スケジュール		進捗状況		備考(計画の詳細)
		17年度	18年度	17年4月～19年3月	18年10月～19年3月	
(3) 地域再生推進のための各種施策との連携等 地域再生推進のための各種施策との連携等	<ul style="list-style-type: none"> 前年に引き続き地域再生推進のための各種施策との連携について情報収集を行い、研修計画を策定する。 他行動向についても情報収集を図りながら取組を検討している。 	<ul style="list-style-type: none"> 北陸税理士会、商工会議所(魚津・黒部・滑川・富山) 商工会(入善・泊・水橋)との連携を行う。 連携先・融資商品等の検討を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成17年度実績を踏まえ、連携先・融資商品等の検討を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成17年5月23日、北陸税理士会との提携により「税理士会経営者ローン」を発売。 平成17年8月1日、商工会議所(魚津・黒部・滑川・富山)との提携による「商工会議所ローン」を発売。 平成17年9月26日、商工会(入善・泊・水橋)との提携による「商工会メンバーズローン」を発売。 平成17年11月1日債務統合型ローン(株ライフ)との提携による「まとめて一本」と(株)ジャックスとの提携による、火災やビッキング被害の見舞金付き「プロテクトリフォームローン」を発売。 平成17年11月21日当座貸越型教育ローン「学資ローン」と信金ギランティ(株)との提携商品で滑川信金からの継承のカードローン「しんきんきゃっする」を発売。 平成17年11月1日債務統合型ローン(株ライフ)との提携による「まとめて一本」と(株)ジャックスとの提携による、火災やビッキング被害の見舞金付き「プロテクトリフォームローン」を発売する。 平成17年11月21日当座貸越型教育ローン「学資ローン」と信金ギランティ(株)との提携商品で滑川信金からの継承のカードローン「しんきんきゃっする」を発売する。 平成18年1月16日「企業支援資金」「企業活性化資金」の取扱いを開始する。 平成18年5月10日、「がんばる子育て家庭支援融資」取扱開始。 平成18年9月25日、「法人会メンバーズローン」取扱開始。 平成18年12月1日～19年4月27日までの期間限定でカーライフプラン、レポートプラン、教育プランの給振者優遇キャンペーンを実施しました。 平成18年12月4日～19年1月31日までウィンターキャンペーンとしてプレミアム定期預金【あったまる・3】を販売しました。平成18年12月25日には懸賞付き定期預金春よこいの抽選会を開催。当選720本、賞金総額400万円の発表を行いました。 平成19年2月1日～5月31日まで給与振込キャンペーンを実施。平成19年3月29日には団塊世代の退職に備え退職金専用定期預金【にいかわセカンドライフ】を起案。19年4月2日から20年3月31日までの期間限定で発売を決定。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成18年12月1日～19年4月27日までの期間限定でカーライフプラン、レポートプラン、教育プランの給振者優遇キャンペーンを実施しました。 平成18年12月4日～19年1月31日までウィンターキャンペーンとしてプレミアム定期預金【あったまる・3】を販売しました。平成18年12月25日には懸賞付き定期預金春よこいの抽選会を開催。当選720本、賞金総額400万円の発表を行いました。 平成19年2月1日～5月31日まで給与振込キャンペーンを実施。平成19年3月29日には団塊世代の退職に備え退職金専用定期預金【にいかわセカンドライフ】を起案。19年4月2日から20年3月31日までの期間限定で発売を決定。 	
4. 進捗状況の公表	<ul style="list-style-type: none"> 業界団体である全信協の開示方針を踏まえ、進捗状況の公表を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画を策定し、要約を公表する。 進捗状況の公表を検討する。 平成17年8月31日ホームページにて公表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 進捗状況の要約を公表する。 進捗状況の公表を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成17年8月31日に、要約をホームページに掲載し公表する。 平成17年9月末ディスクロージャー誌を作成し、11月10日ホームページに掲載する。 平成17年12月26日に17年4月～9月末の進捗状況要約書をホームページに掲載する。 平成18年3月末ディスクロージャー誌を作成し、6月21日ホームページに掲載しました。 平成18年9月末ディスクロージャー誌を作成し、平成18年11月営業店に据え置きました。 平成18年12月14日に17年4月～18年9月末の進捗状況要約書をホームページに公表しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成18年9月末ディスクロージャー誌を作成し、平成18年11月営業店に据え置きました。 平成18年12月14日に17年4月～18年9月末の進捗状況要約書をホームページに公表しました。 	